

令和元年第1回さくら市議会定例会一般質問順番

令和元年6月5日(水)午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	笹 沼 昭 司 議員
2番	加 藤 朋 子 議員
3番	手 塚 定 議員
4番	福 田 克 之 議員

令和元年6月6日(木)午前10時～ 3人

質問順番	質問者名
1番	若 見 孝 信 議員
2番	櫻 井 秀 美 議員
3番	鈴 木 恒 充 議員

笹 沼 昭 司 議員

1. 放課後児童クラブ(学童保育)について

政府は全国市長会の要望を踏まえ、学童支援員の配置基準や資格要件を緩和することを決めた。そこで伺う。

- ①待機児童の状況について、どう認識しているか。
- ②時間延長など、保護者からの要望等の対応はどうか。
- ③職員配置や資格要件緩和についてはどう考えているか。
- ④現在の支援員、補助員とも処遇に不満は出でないか。
- ⑤学童保育の質の低下に繋がらないか。

答弁を求める者 市長

2. 改正入管法に伴う外国人人材の受入れ環境の整備について

本年4月に改正出入国管理法が施行され、外国人材の適正・円滑な受け入れの促進、雇用や労働環境の改善に取り組んでいく必要があると思うが、以下について伺う。

- ①出入国管理法の改正に関し、市長の見解はどうか。
- ②市役所窓口での相談業務は大丈夫か。
- ③市内企業等において、どのように外国人人材受け入れ需要について認識しているか。
- ④今後受け入れが拡大する中で、外国人支援業務の現状と課題。
- ⑤現在の市内外国人就労者及び実習生に対して、行政としてどのように情報伝達や指導を行っているか。
- ⑥日本語教育や日常での生活など日本の慣習を身に着けさせ、人材の定着につながるような教室の開設が必要ではないか。
- ⑦外国人の子どもの学校教育に関して、今後外国人が増える中で対応が可能か。

答弁を求める者 市長、教育長

3. 消費税の値上げについて

今回の値上げは複数税率への対応が必要となるが、中小企業庁には、軽減税率対策補助金の制度がある。市内の各事業者等はこの制度を活用すると思うが、市としてのかかわり方と状況は。

また国はプレミアム付き商品券の発行を行う予定であるが、販売方法や利用店舗の範囲など、運用についてどのように考えているか。

更にキャッシュレス決済の促進のため、買い物をする際に、消費者にポイントを還元する新たな制度が導入されるが、ポイント還元制度を開始するに当たっては、より多くの店舗でキャッシュレス決済ができる仕組みを整えることが必要となる。市としてのかかわり方を伺う。

答弁を求める者 市長

4. 総合事業と老人クラブについて

地域支援事業には訪問型サービスや通所型サービスのほかに、地域サロンや住民等が行う見守り、安否確認、外出支援、買い物、調理、掃除などの家事支援など幅広い取り組みが含まれている。市内では社協、老人クラブ、様々な同好会等を中心にスポーツや趣味など、いろいろな取り組みがなされているが、高齢者の社会参加や介護予防を促す総合事業の趣旨にそうものと考えられる。こうした情報を把握し、情報提供できる取り組みも重要と思われる。そこで現在の「地域ケア会議」や「生活支援・介護予防サービス体制整備協議体」の取り組みと今後の事業の充実に向けての課題について伺う。また各老人クラブへの補助制度は一律のようであるが、クラブに所属している人数によるべきと思われるがどうか。さらに高齢者に補聴器が必要な場合、補聴器に対する補助を実施して社会参加などの促進に寄与すべきと思うがどうか。

答弁を求める者 市長

加藤 朋子 議員

1. 教育行政、課題と解決への施策は

教育の進化を目指す花塚市政において、現状の教育現場の課題をどう捉え、その解決をどう図っていくのか。

- ①学校規模適正化の考えと方向性は。
- ②学区編成の是非は。
- ③特色ある学校の設置は。
- ④教員の働き方改革は。
- ⑤学力向上への取り組みは。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 投票率アップを目指すには

- ①当市の選挙における投票率の推移と傾向は。
- ②投票率向上の取り組みと、効果は。

答弁を求める者 市長、選挙管理委員会委員長

手塚 定 議員

1. お丸山公園再生基本計画について

- ①第5期の整備内容について。
- ②喜連川スカイタワー被災・劣化調査結果は。
- ③今後の整備方針は。

答弁を求める者 市長

2. 通学道路の整備について

- ①通学路の安全性は確保されているか。
- ②狭あい道路の取扱いについて。

答弁を求める者 市長

福田克之 議員

1. さくら市内の安全・安心の確保について

大津市の事故を受けて、保育園、幼稚園、開園中の安全確保は。

小学校、中学校の、登下校時の通学路（時）の安全確保は。

市内公共施設（不特定多数が集まる場所）の安全確保は。

（例えば、飲酒などの時間制限を設ける考えは。）

庁舎内（窓口対応）の安全確保は。

（例えば、来客者に対する複数での対応）

① 現在の状況について

② 今後の対応について

答弁を求める者 市長、教育長

2. 子ども家庭総合支援体制について

平成 29 年に、コミュニティを基盤としたソーシャルネットワークの機能を担い、子ども家庭総合支援拠点を整備することが国で決まったが、さくら市としての現在の進捗状況、今後の進め方など政策から問う。

① 現在の進捗状況について。

② 今後の考え方と進め方について。

答弁を求める者 市長

3. 本市における国内外の友好都市について

オリンピックまで残り 1 年となりました。

新聞報道でも、ホストタウンの申し出は県内では県と那須塩原市のみ。栃木県国際交流協会もせっかくの機会なので、事後交流の友好都市でも良いと言っている。

また、災害対策の観点から、首都圏を中心とした国内の友好都市締結の考えは。

① 現在の進捗状況について。

② 今後の考え方と進め方について。

答弁を求める者 市長、教育長

若見孝信 議員

1. 人事評価制度の運用と専門職の確保について

①人事評価について

- ア. 評価結果を現時点では人事や各職員の処遇等にどう反映させているのか。
また、将来的にどのような活用を考えているか。
- イ. 職員のスキルアップ、モチベーション維持向上に具体的にどのような効果が確認できるか。
- ウ. 評価が低い職員に対する働きかけ、モチベーション低下にならないために、具体的にどのような取組を行っているか。
- エ. 現在の人事評価制度の課題をどう捉えるか。また、その改善に向けてどのような取り組みを進めていくのか。

②専門職の確保について

- ア. 現在の専門職の確保状況と今後の採用見込みはどの程度か。
- イ. 今後必要になると思われる専門職はどのようなものか。また、その想定人数はどの程度か。
- ウ. 会計年度任用職員制度への移行に伴い、想定される同制度職員数と5年程度を見通した市職員定数はどの程度と見込んでいるか。

答弁を求める者 市長

2. 交通安全対策と公共交通の充実について

①保育園、幼稚園での安全点検や交通安全への取組について

- ア. 市保育園において、どの程度の頻度でお散歩を実施して、その際にどのような安全対策を講じているか。
- イ. 現在までに、保育園や幼稚園との交通安全点検の実施やその結果に基づいた具体的な交通安全対策の実施等はなされているのか。
- ウ. 具体的に実施しているとすれば、その結果どのような内容があったのか。
- エ. 園児向け、あるいは保護者向けの交通安全対策等はどのような内容で開催されているか。

②高齢者の生活の足となる公共交通の充実について

- ア. 本年4月から実施している喜連川地区から黒須病院までの路線の利用状況はどの程度か。
- イ. 今後、氏家地区と喜連川地区の相互乗り入れをどのように考えているか。
実施について交通事業者の同意等の課題もあると聞き及んでいますが、各事業者とどのように共存し、棲み分けしていくのか。いつ頃を目途に進めていくのか、基本的な考え方を伺います。
- ウ. 高根沢町や宇都宮市の上河内地区の乗合タクシーは、氏家地区にも乗り入れています。一方、本市の乗合タクシーは市内のみの運行となっていますが将来的に近隣の市町、例えば喜連川地区では塩谷病院への通院も多く、それらの対応するような運行区域拡大の可能性はあるのでしょうか。

答弁を求める者 市長

3. 市民の各種相談窓口について

- ①市が実施している相談窓口、また市が委託している相談業務はどの程度あるのか。
- ②特に件数の多い相談業務はどのようなものか。具体的に年間どの程度の件数の受付があって、どの程度が解決に至っているのか。
- ③国の地域共生社会の理念に沿うとともに、市民の利便性を向上させるため包括的な相談窓口として「総合相談センター」を設置することが有効と思うが市としての考えはどうか。

答弁を求める者 市長

櫻井秀美議員

1. 道の駅きつれがわについて

- ①施設内市有地に民間建物が建ち、登記をしている。大変な問題と考えるが前例があるかどうか。
- ②前期1,400万円の赤字、今期の決算は。
- ③プロジェクションマッピングの効果と費用は。

答弁を求める者 市長

2. さくら市瀧澤家住宅について

- ①工事遅延の検証。
- ②ブロック塀撤去補助事業と本施設の石塀について。
- ③本施設用地を利用して教育委員会を併設する考えは。

答弁を求める者 市長、教育長

3. 市内に植栽されている桜と、桜の郷づくりについて

- ①桜の木に付着しているコケによる桜の木の衰退が顕著であるがその対策は
- ②喜連川の桜並木も対処次第ではまだまだ回復可能だが、他の同等程度の年齢の桜を調査したのか
- ③他地域の桜の郷づくり規模と、さくら市の桜の郷づくりの検証

答弁を求める者 市長

鈴木恒充 議員

1. 地域ブランドについて

ブランド要素としてはさまざまなものが、含まれますが、当市のインパクトの強いものにしぼっていかないと、さくら市の長がわかりづらと思います、どのように考えているか、お伺い致します。

答弁を求める者 市長

2. 2025年団塊の世代対策について

戦後のベビーブームが75才（後期高齢者）を迎え、また、6年後には65才以上の要支援・要介護の割合は5人に1人と推定されております。そこでさくら市の医療・福祉・介護などこれからの事業計画について、お伺い致します。

答弁を求める者 市長

3. 地域の魅力作りと観光振興について

①地域の魅力作りについてお伺い致します。ネット社会において、地域の人と人とのつながりが希薄になっていく現実を、目の当りしてこれからの行政の取組み方について、お伺い致します。

②国際交流について、今後の外国人交流並びに地元購買力を高める考え方についてお伺い致します。

③県外アンケート調査の結果について、当市のこれからの喜連川温泉について豊かな自然について・桜の名所についての施策とPRの進め方についてお伺い致します。

答弁を求める者 市長